

# 佐渡米通信

# こめへる

2020年 08月号

発行日:2020年8月

編集人:佐渡農業協同組合 営農事業部販売企画課 藤巻・渡辺  
jasadoeinoubu20@dune.ocn.ne.jp

## 最後まで気を抜かず

今年の稲は葉色と草丈は目標値並みですが、目標値よりも茎数が多く、栄養不足にならないように注意が呼びかけられています。茎数が多くなると豊作が期待できますが、栄養が行き渡らずに十分に生長出来ない可能性もあるため、葉の色などをよく確認するよう指導が行われています。コシヒカリの出穂期は平年並みの予想となっており、5月10日に植えた圃場では、8月7日頃と予想されます。



## 栄養たっぷり大きく育て

7月3日から15日の間、島内約100箇所の圃場で穂肥指導会が行われました。今年は茎数が過剰となっているため、栄養不足とならないように気をつけながら穂肥を行うように指導が行われました。生産者は資料に掲載されている今後の天候や気温を確認しながら、穂肥を行う計画を立てていました。



穂肥指導会の動画をご覧いただけます

## 田んぼアートが見頃です!

順調に稲が育ち、田んぼアートが見ごろを迎えています。今年の田んぼアートにはコシヒカリの他に、黄色大黒・あかねあそび・べにあそび・紫大黒の計5種類の稲が使われており、田んぼアートの見ごろは、8月の中旬まで続きます。



## 遠く離れても元気で

7月2日に夏季高千家畜市場が開催され、子牛87頭、成牛7頭の合計94頭が競りにかけられました。前回よりも頭数は減りましたが、最高価格は855,800円とまずまずの結果となりました。会場では農家の人たちが別れを惜しみながら、丁寧に牛たちのお世話を行っていました。また、保育園の園児も見学に来ており、子ども達は近くで見る牛の迫力に圧倒されていました。



## おいしいスイカが出来ました

7月9日にスイカ出荷目合わせが行われました。目合わせには9名の生産者が参加し、小玉スイカや大玉スイカ、種なしスイカが持ち寄られました。スイカの糖度はどれも12度以上と甘く、今年は甘くておいしいスイカが市場に並びます。

